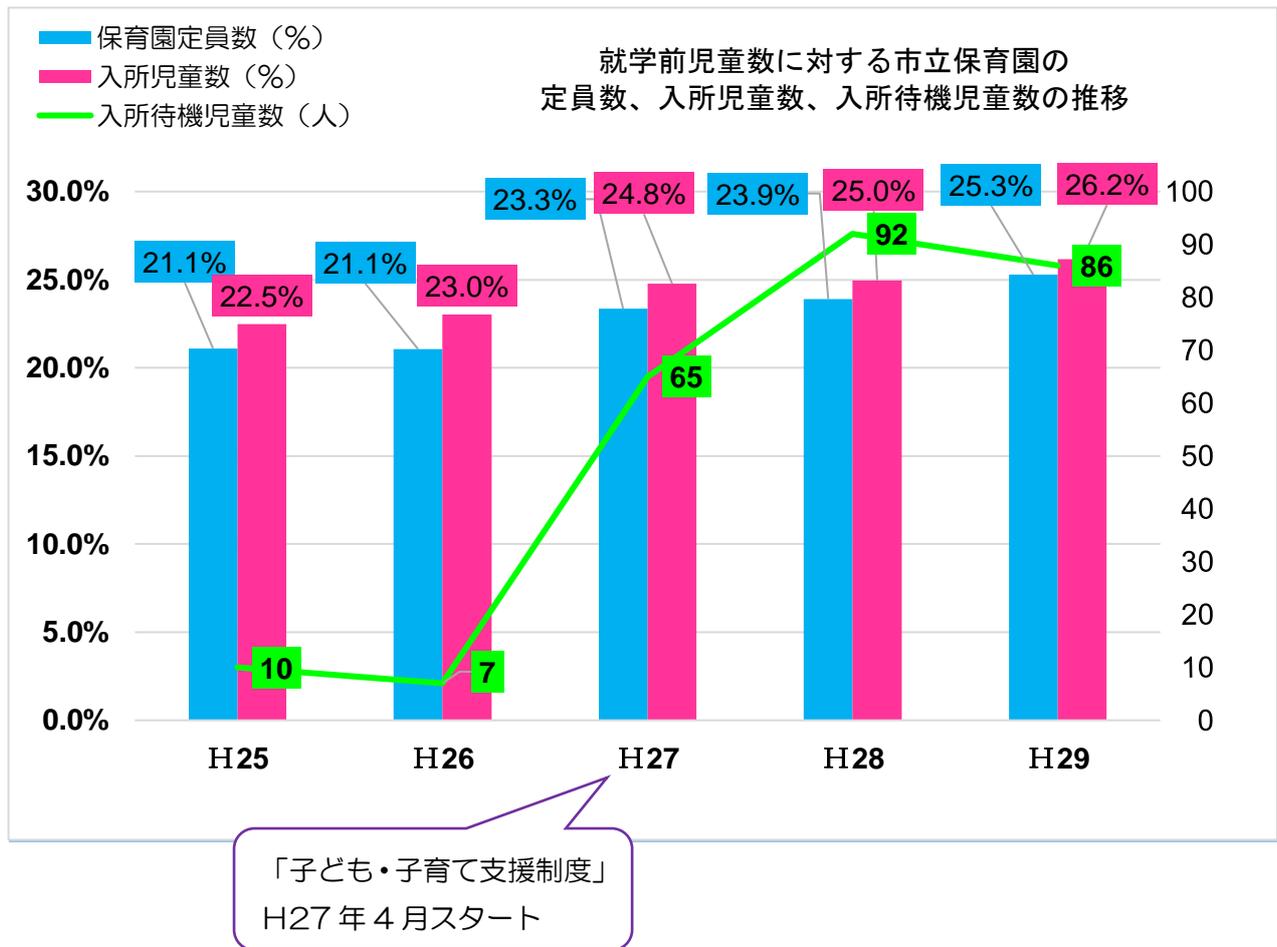


A) 就学前児童数に対する市立保育園の定員数、入所児童数。入所待機児童数の推移



B) 「子ども・子育て支援新制度」で拡大された「保育を必要とする事由」

	従来	現在
① 就労（フルタイム）	○	○
② 妊娠、出産	○	○
③ 保護者の疾病、障がい	○	○
④ 同居または長期入院している親族の介護、看護	○	○
⑤ 災害復旧	○	○
⑥ その他、上記（①～⑤）に類する状態として市町村が認める場合	○	
⑦ 就労（パートタイム、夜間、居宅内の労働など）		○
⑧ 休職活動（起業準備を含む）		○
⑨ 就学（職業訓練校などにおける職業訓練含む）		○
⑩ 虐待やDVの恐れがあること		○
⑪ 育児休業取得中に、すでに保育を利用する子どもがいて継続利用が必要であること		○
⑫ その他、上記（①～⑤ ⑦～⑪）に類する状態として市町村が認める場合		○

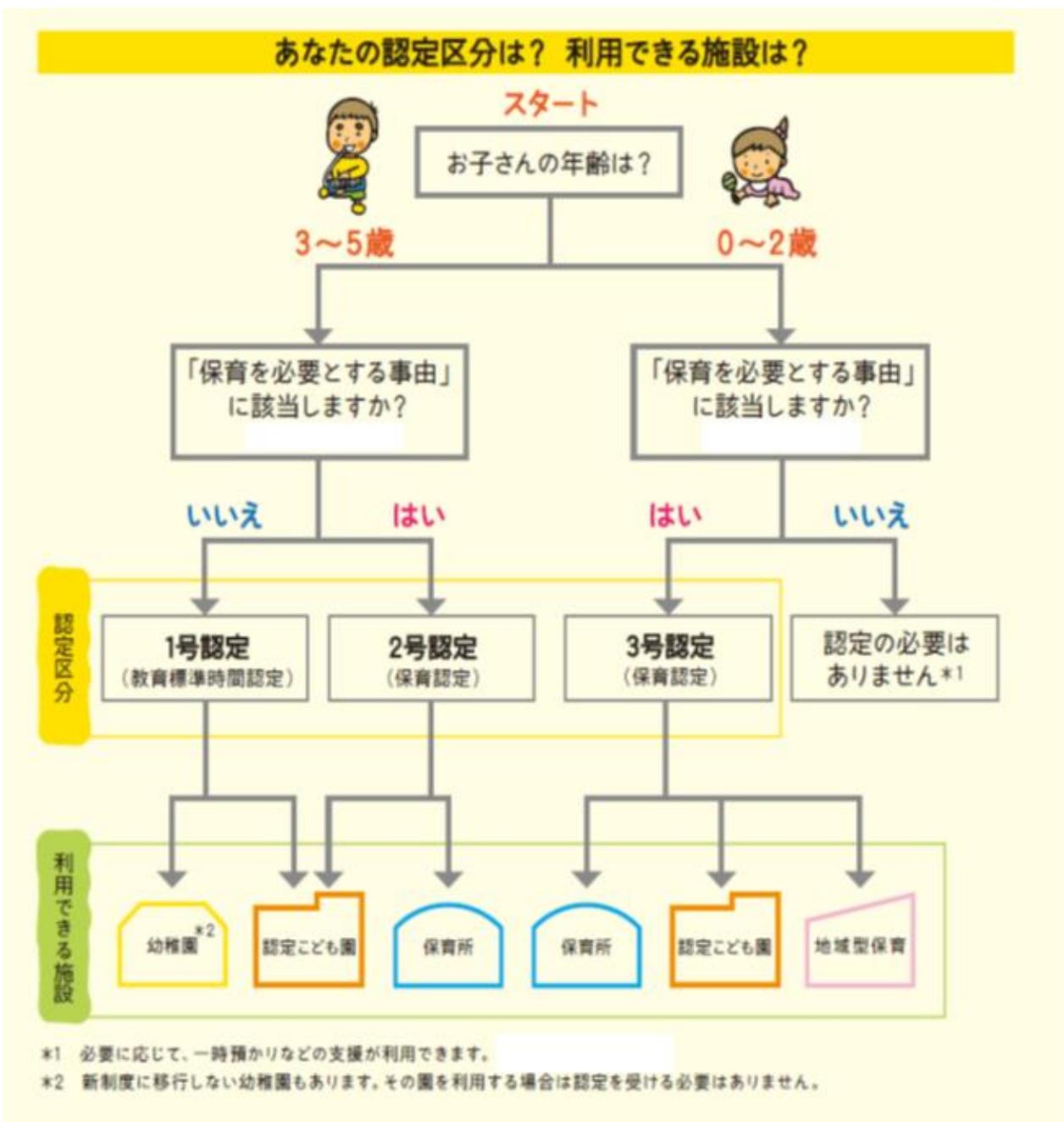
C) 「子ども・子育て支援新制度」で拡大された「保育を必要量」

保育を必要とする事由や保護者の状況に応じ、次のいずれかに区分される。

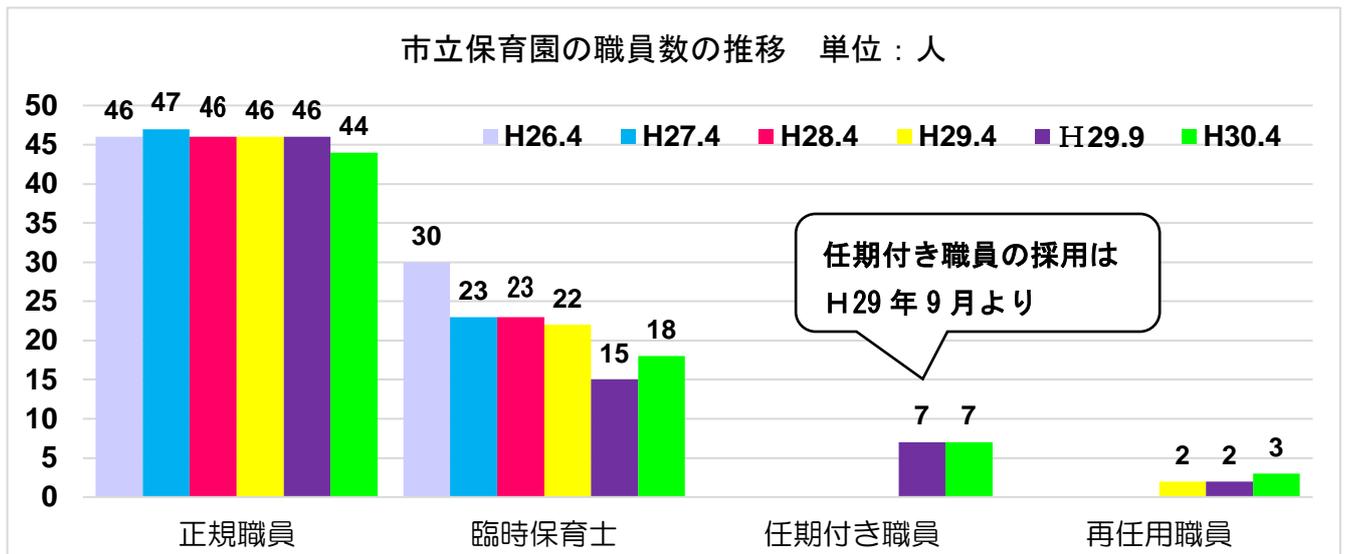
「保育標準時間」設定	最長 11 時間	フルタイム就労を想定した利用時間
「保育短時間」認定	最長 8 時間	パートタイム就労を想定した利用時間

※保育を必要とする事由が就労の場合、「保育短時間」利用が可能となる保護者の就労時間の下限は、1 か月あたり 48～64 時間の範囲で、市町村が定めることとなります。

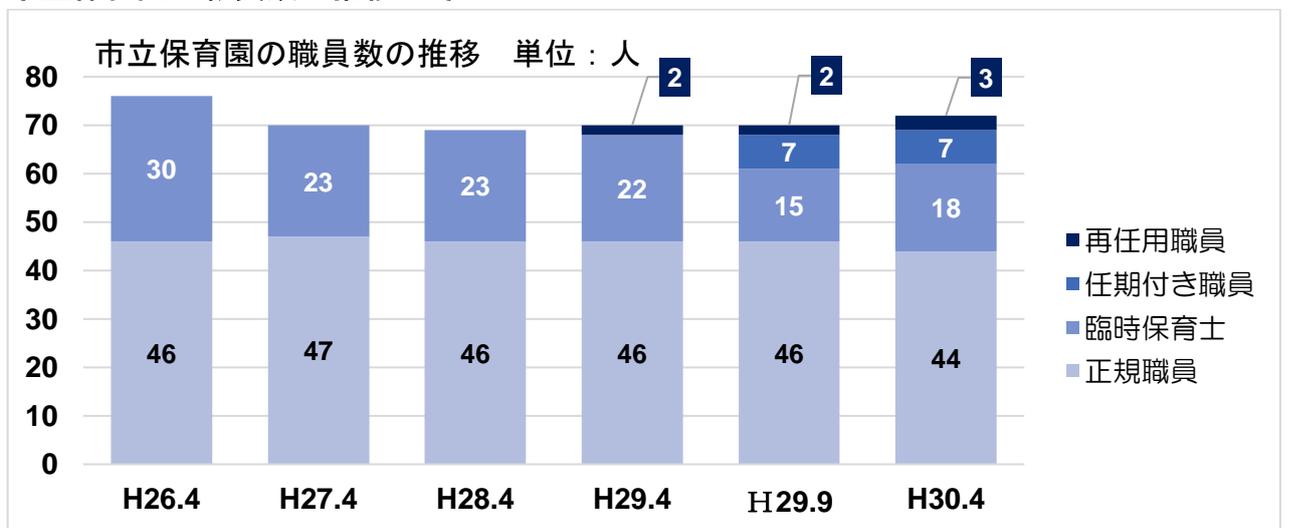
D) 認定区分と利用できる施設



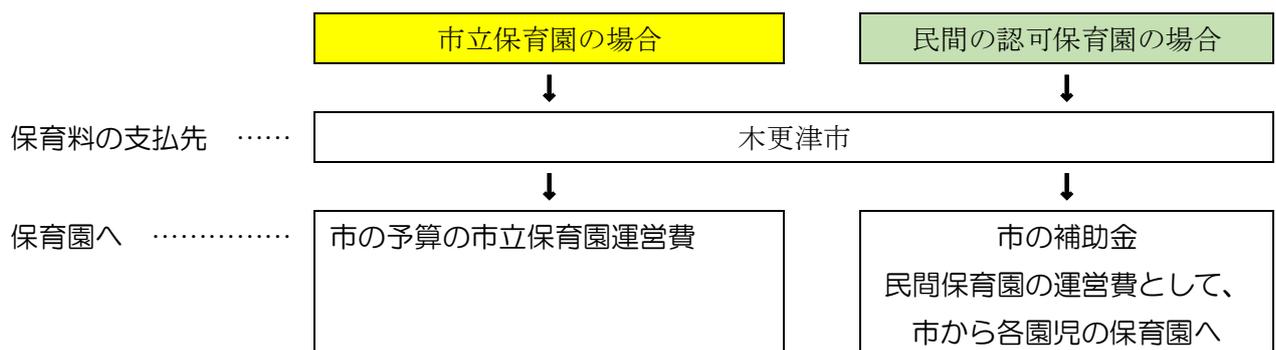
E) 市立保育園の職員数の推移 その1



F) 市立保育園の職員数の推移 その2



G) 保護者が支払う保育料のゆくえ



H) 市立保育園と民間保育園の保育園運営費の財源構成比較（木更津市立民営化方針より）

市立	（市税等・保育料）100%		
民間	国庫補助金	県補助金 25%	市の補助金 25%

I) 市立保育園と民間保育園の保育園運営費の財源構成比較…保育料の占める割合

市立	市税等			%	保育料	%		
民間	国庫補助金	%	県補助金	%	市一般財源	%	保育料	%

J) 園児一人あたりの保育園運営費と市の負担分

	一人あたり保育園運営費	一人あたりの市の負担分
市立保育園	円	円
民間保育園	円	円

K) 削減費用はおよそいくらか算出

現在	予定	園名	保育園運営費の財源内訳	
市立	統合・閉園	祇園保育園	市税 (削減対象)	保育料
	民営化	鎌足保育園		
		吾妻保育園		
		中郷保育園		
		久津間保育園		
	直営	桜井保育園	市税	保育料
		わかば保育園		
指定管理	請西保育園			

※ 市立請西保育園は、指定管理者制度で運営しているため、削減費用算出の対象外